

NO16 蒙古襲来と幕府の衰退

NO125 鎌倉時代の戦いと蒙古襲来 2005 本

鎌倉時代の戦争では、馬上から矢を放つ騎射の技術が重視されており、武士は遠くから固定した的を得る【ア】などの訓練を積んでいた。しかし元軍が襲来した【イ】で、日本勢は上陸した相手の集団戦法に苦しんだ。そこで幕府は、再度の襲来に備えて博多湾外に防塁を築いた。

問 空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 笠懸 イ 弘安の役 ② ア 笠懸 イ 文永の役
- ③ ア 犬追物 イ 弘安の役 ④ ア 犬追物 イ 文永の役

正解→②

NO126 鎌倉時代の支配力強化 2005 追試

鎌倉時代の支配力強化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 鎌倉幕府は、朝廷を統制するために京都所司代を設置した。
→✖京都所司代は、江戸幕府の下で、朝廷の監察、西国大名の監視などにあつた。
- ② 鎌倉幕府は、持明院統を支持して大覚寺統からの即位を禁じた。
→✖鎌倉幕府は両統迭立を実現させた。
- ③ 鎌倉幕府は、正中の変ののち順徳上皇を流罪に処した。
→✖正中の変は後醍醐天皇の倒幕計画であり、順徳上皇が流罪になったのは承久の変である。
- ④ 鎌倉幕府は、元寇の際に非御家人も動員した。○

正解→④蒙古襲来を機に、幕府は非御家人の動員を朝廷に認めさせ、西国一带にその勢力を強めていった。

NO127 永仁の徳政令 平 13-本

永仁の徳政令に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① この法が出されたのは、幕府が得宗専制政治を行っていた時期である。
- ② この法の目的は、売却された御家人領を有償で買い戻させることにあつた
- ③ 御家人の所領相続形態は、この法を契機にして、次第に単独相続から分割相続へと移行していった。
- ④ 徳政令と民衆とのかかわりは室町時代に強まり、足利義満が將軍職を退いた直後に正長の土一揆が起こった。

正解→北条貞時のとき永仁の徳政令が出されたので①が正しい。②は無償、③は逆、④義持の死後、正長の土一揆が起こったので×。

NO128 元寇 平 14-本

元寇に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日蓮は『興禅護国論』を書いて国難到来を予言したが、秩序を乱すとして弾圧を受

- けた。
- ② 『蒙古襲来絵詞』には、元軍に立ち向かう騎馬武者の姿が描かれている。
- ③ 執権北条時頼は、博多湾を襲った元軍を撃退することに成功した。
- ④ 元寇以後、日中間の交易は幕府滅亡に至るまで行われなかった。

正解→②猫問

答→2-3-1

NO129 鎌倉時代後半の人々の活動 2012 本

鎌倉時代後半の人々の活動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

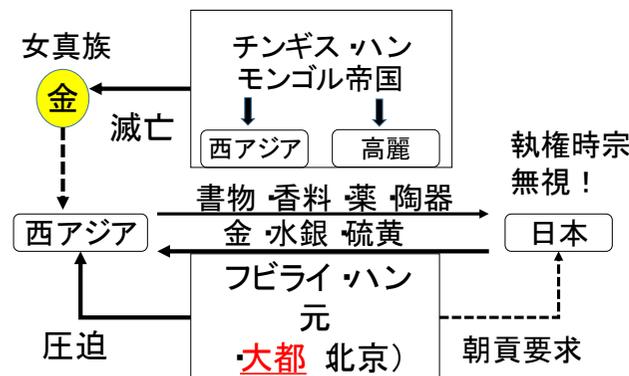
- ① 幕府や荘園領主の支配に抵抗する者が、悪党とよばれた。
- ② 足軽が鉄砲隊に組織され、活躍した。
- ③ 都市鎌倉では、大原女などの女性商人が活躍した。
- ④ 交通の要所では、商品の中継ぎや運送を行う土倉役が現れた。

正解→①

NO130 蒙古襲来について 2008 年一追 年代順配列

1. 朝鮮半島で、元の支配に抵抗した三別抄が鎮圧された。 1276
2. 元は日本に二度目の軍勢を派遣した。 1281
3. 中国大陸南部を支配していた南宋が滅亡した。1279

答 1-3-2



清盛以来南宋と貿易、フビライは日本に対し朝貢を要求 時宗拒否

★三別抄の乱

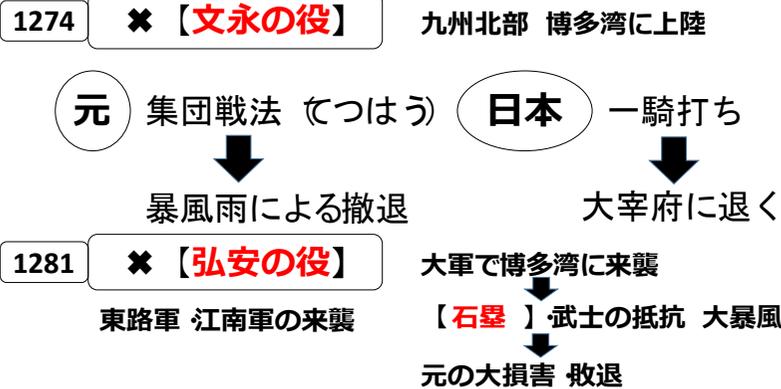
北条時宗

元は高麗軍を従えて来襲

★南宋滅亡

三度目の来襲はなかった。しかし十分な恩賞にあずかれなかった御家人たちの不満。身内のみを引き立てる北条氏の得宗専制政治によって御家人への配慮乏しくなっていた。そこで1297年⇒【永仁の徳政令】を出すが一時的なもの。

元寇 蒙古襲来)



元は18万の大軍で再来襲

三度目の来襲に備える幕府

御家人

十分な恩賞与えられない

御家人の要求 見捨てられがち

没収する 土地がない

執権政治 御家人の協力があつた

得宗専制 北条本家の勢力 強まる

御家人の窮乏化

1297永仁の徳政令

分割相続⇒単独相続へ

リカバリーシート 蒙古襲来
モンゴル戦争の時代



得宗	できごと
〔時宗〕	×【文永】の役 1274…元・高麗軍の来襲 元の集団戦法・てつほうに苦戦 (日本は一騎打ち) 暴風雨による撤退 防衛強化策⇒【異国警固番役】の強化、【石塁】(石築地)の構築 南宋の滅亡 1279←元による
	×【弘安】の役 1274…東路軍(元・高麗)・江南軍(南宋)の来襲 博多湾から上陸させず⇒暴風雨による撤退 警戒体制の継続⇒非御家人の動員、【鎮西探題】設置(1293・貞時)

【 貞 時 】	【 得宗専制 】体制の確立 【 得宗 】…北条氏の嫡流の当主 【 御内人 】…得宗家の家来（筆頭は【 内管領 】） 【 寄合 】（得宗私邸での会議）により、評定衆の形骸化 北条一門が全国の守護の半数以上を占める
	*【 霜月騒動 】1285 …有力御家人の【 安達泰盛 】が内管領の【 平頼綱 】に滅ぼされる
	*平禅門の乱 1293…平頼綱が貞時に滅ぼされる⇒得宗に権力集中
	【 永仁の徳政令 】1297…御家人の窮乏を救う⇒失敗

17 蒙古の牒状もうこ ちょうじょう（国書）とうだいじ せんしょういんぞうほん（東大寺尊勝院蔵本「蒙古国牒状」）もうこ ことくちょうじょう
 上天眷命【**大蒙古国皇帝**】じょうてんけんめい だいもうこ ことく、書を日本国王に奉たてまつる。朕ちんおも惟いふに古いにしえより小国の君境
 土相接するは、尚あほ講信修睦こうしんしゅうぼく つとに務む。……相通好せざるは、豈あに一家の理やならん哉。兵
 を用ふるに至るは、夫れ孰そか好む所いづれならん。王其れ之そを凶これれ。不宣はか せん
 <ポイント>大蒙古国皇帝が⇒【**フビライ**】をさすことは絶対。元寇の時のものだと分
 ければ、時の執権北条時宗は答えられる。